

大豊町の概要

位置 東経133度37分 北緯33度56分
面積 320.54平方杆 東西 32杆
南北 28杆 部数 87
人口 11,195 男 5,378 女 5,817
世帯数 3,641(11月末日現在住民基本台帳調)



昭和51年1月25日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会

発行 大豊町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社

財政事情の公表について

昭和39年大豊町条例第28号(大豊町財政事情説明書の作成及び公表に関する条例)第3条2項の規定による、昭和51年9月30日現在の財政事情は別掲(3~4頁)のとおりである。

昭和51年12月1日

大豊町長 門田盛一郎

昭和50年度歳入歳出予算に対する決算の状況

歳入

(単位 千円)

区分	予算額	調定額	収入済額	予算に対する収入率%	調定に対する収入率%
1. 町税	153,925	159,994	158,394	102.9	99.0
2. 自動車重量税	7,000	9,373	9,373	133.9	100.0
3. 自動車取得税交付金	12,200	14,455	14,455	118.5	100.0
4. 地方交付税	657,138	657,138	657,138	100.0	100.0
5. 交通安全対策特別交付金	1,272	1,272	1,272	100.0	100.0
6. 分担金及び負担金	41,396	39,962	39,962	96.4	100.0
7. 使用料及び手数料	5,002	5,342	5,342	106.8	100.0
8. 国庫支出金	161,780	154,202	154,202	95.3	100.0
9. 県支出金	205,544	187,652	187,652	91.2	100.0
10. 財産収入	12,762	15,444	15,444	121.0	100.0
11. 寄附金	14,417	14,924	14,924	103.5	100.0
12. 繰入金	36,004	36,004	36,004	100.0	100.0
13. 繰越金	38,959	38,959	38,959	100.0	100.0
14. 諸収入	11,803	15,632	15,632	132.4	100.0
15. 町債	160,000	163,200	163,200	102.0	100.0
歳入合計	1,519,207	1,513,553	1,511,954	99.5	99.9

歳出

(単位 千円)

区分	予算額	支出済額	予算に対する支出割合%
1. 議会費	37,858	37,273	98.46
2. 総務費	292,938	286,388	97.76
3. 民生費	220,007	204,815	93.09
4. 衛生費	57,199	55,772	97.51
5. 農林水産業費	270,448	269,330	99.59
6. 商工費	41,337	41,311	99.94
7. 土木費	71,516	71,083	99.39
8. 消防費	52,494	52,099	99.25
9. 教育費	237,763	232,200	97.66
10. 災害復旧費	139,886	137,351	98.19
11. 公債費	95,750	92,854	95.98
12. 諸支出金	1	0	0
13. 予備費	2,004	0	0
歳出合計	1,519,202	1,480,479	97.45

ハ、補助金交付については、事業内容によってそれぞれ適切な補助条件が付けられているが、これが履行の確認が行われていないものも若干見受けられた。一定の目的をもって補助した以上、その目的が達成されているかどうかについては厳正に確認しておくことが大切であると思われる。

二、予算執行に当たり、過年度支出が見受けられた。会計年度独立の原則(法二〇八の二)について、今後留意されるよう切望する。

昭和50年度 決算の内訳

審査結果の公表

黒字運営を高く評価

昭和五十年大豊町一般会計並びに特別会計の決算審査は、監査委員岡崎治猪、小笠原茂の両氏により、去る八月に行われ、同月三十一日付で、地方自治法第三十三条の規定による「審査意見書」を門田町長宛送付した。

これによると、一般、特別両会計共計の誤りや非違の経理もなく、黒字財政で、翌年度に引き継いだ執行部の努力を高く評価しているが、さらに創意工夫を重ねて不況下での健全財政維持に尚一層の研究をしよう望んでいる。

14億8千余万円支出

投資的経費は36.5%

一般会計

一、財政の推移

昭和五十年一般会計決算額は、歳入歳出差引額一億三千四百七十五万五千三百六十三円、右のような決算であり、前年度に引き継ぎ順当に伸びているが、景気不況が地方財政にも影響し、特に本町のような農山村地帯は特殊の財源に恵まれず、経常経費が比較的多くの部分は前年度の通りであり、三千万円の剰余金を生じ、尚、投資的経費を積極的に執行して、収入額が伸びているので徴収に

二、財政収支状況

昭和五十年の決算状況は、歳入歳出差引額一億三千四百七十五万五千三百六十三円、右のような決算であり、前年度に引き継ぎ順当に伸びているが、景気不況が地方財政にも影響し、特に本町のような農山村地帯は特殊の財源に恵まれず、経常経費が比較的多くの部分は前年度の通りであり、三千万円の剰余金を生じ、尚、投資的経費を積極的に執行して、収入額が伸びているので徴収に

不況下の財政運営
創意工夫で硬直化を防げ

一般会計

三、財政運営の状況

財政運営は一般的にみて健全であり、適切に総括的に収入の確保に努力したものと認められる。また、調定額そのものについても適正な見直しであったと認められる。然し、町の主要な財源である税収入については、六十万円の未収があり、今後税の確保について努力を要望する。また、法人

四、歳入について

一億八千七百六十五万二千円、地方交付税収入六億四千万円に對し、収入済額は一億八千七百六十五万二千円、収入済率は九十七点四五パーセントである。

五、歳出について

予算総額十五億一千九百二十万二千円に對し、支出済額は十四億八千四百七十九万九千円、支出済率は九十七点四五パーセントである。

第二 国民健康保険特別会計について

1. 昭和50年度歳入歳出決算額

歳入決算額	315,323,783円
歳出決算額	297,928,669円
歳入歳出差引額	17,395,114円

上記の通り黒字決算であり、その上20,212千円の基金積立がなされており、本事業は先ず順調であると認められる。しかし、収入未済額6,238,770円は、保険税の滞納額であり、本年度調定額の約10%弱に及んでおり、従って税の収入は国保運営に大きな影響を及ぼす事になるので、納税組合等の協力を得て、徴税への努力を一層望むと同時に、国民健康保険制度に対する住民の理解と、連帯意識の高揚に積極的な指導と啓蒙が必要ではないかと思われる。

2. 保険税の徴収状況

(単位 千円)

区分	現年度		滞納繰越分		計	
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	収入額	徴収率
48	47,185	93.89%	2,237	37.71%	36,111	86.74%
49	55,039	95.88	1,621	28.75	56,660	89.88
50	57,102	95.99	2,254	36.90	59,356	90.49

第三 簡易水道事業特別会計について

1. 昭和50年度歳入歳出決算額

歳入決算額	59,582,060円
歳出決算額	59,115,813円
歳入歳出差引額	466,247円

2. 歳入歳出の状況

(単位 千円)

歳入		歳出	
区分	金額	区分	金額
水道使用料	8,009	総務費	7,113
繰入金	7,150	水道管理費	49,266
国庫支出金	15,073	公債費	2,736
県支出金	4,011	予備費	0
繰越金	852		
寄附金	380		
諸収入	6		
町債	24,100		
計	59,582	計	59,115

上記のとおり黒字決算がなされている事は良好と認められる。本事業は昨年に比し約2倍の事業促進をみており、従って、一般会計よりの繰入金7,150千円、国庫補助金15,073千円、更に町債24,100千円となっており、昨年に引き続き東土居簡易水道新設工事、又川口南地区簡易水道新設工事等によるものである。本会計の総務費は約7,113千円、公債費約2,736千円で合計約9,849千円である。独立採算制を強く要望される本会計である故、繰入額のぜん減に今後、研究と努力を望むものである。

第四 代替輸送事業特別会計について(大杉刈谷線)

1. 昭和50年度歳入歳出決算額

歳入決算額	8,825,058円
歳出決算額	8,824,068円
歳入歳出差引額	990円

2. 歳入歳出の状況

(単位 千円)

歳入		歳出	
区分	金額	区分	金額
県支出金	793	民生費	8,824
繰入金	1,548		
諸収入	3,158		
繰越金	26		
町債	3,300		
計	8,825	計	8,824

上記の通りの決算であるが、一般会計より1,548千円の繰入がなされている。尚本会計の歳入で予算額と収入済額との比較において、諸収入で99,663円の△が出ている。本会計における歳入予算(諸収入)の把握については困難な点が伺われるも、最終予算編成の時期には細心の注意をはらわれるよう要望する。

2ヶ年における歳入、歳出決算に対する各款の構成比

歳入

(単位 千円)

区分	49年度		50年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%
1. 町税	136,002	9.4	158,394	10.4
2. 自動車重量譲与税	9,309	0.6	9,373	0.6
3. 自動車取得税交付金	10,324	0.7	14,455	0.9
4. 地方交付税	589,239	40.8	657,138	43.4
5. 交通安全対策特別交付金	1,254	0.1	1,272	0.1
6. 分担金及び負担金	39,489	2.7	39,961	2.6
7. 使用料及び手数料	4,894	0.4	5,341	0.2
8. 国庫支出金	154,696	10.7	154,202	10.2
9. 県支出金	241,285	16.7	187,652	12.4
10. 財産収入	4,097	0.4	15,444	1.2
11. 寄附金	18,606	1.3	14,924	1.0
12. 繰入金	49,300	3.4	36,004	2.4
13. 繰越金	52,029	3.6	38,959	2.6
14. 諸収入	8,333	0.6	15,631	1.2
15. 町債	124,500	8.6	163,200	10.8
歳入合計	1,441,357	100.0	1,511,954	100.0

歳出

(単位 千円)

区分	49年度		50年度	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%
1. 議会費	31,812	2.3	37,273	2.5
2. 総務費	244,491	17.4	286,388	19.3
3. 民生費	176,835	12.6	204,815	13.8
4. 衛生費	46,169	3.4	55,772	3.8
5. 農林水産業費	245,670	17.5	269,330	18.2
6. 商工費	29,752	2.1	41,310	2.8
7. 土木費	93,184	6.6	71,083	4.8
8. 消防費	48,142	3.4	52,099	3.5
9. 教育費	202,844	14.5	232,200	15.7
10. 災害復旧費	191,832	13.7	137,351	9.3
11. 公債費	89,985	6.4	92,854	6.3
12. 諸支出金	1,682	0.1	0	0
13. 予備費	0	0	0	0
歳出合計	1,402,398	100.0	1,480,478	100.0

第五 総括

一般会計及び特別会計を通じて、決算はその計数に誤りがなく、証書類も整備され、会計経理はほぼ完全であると思われた。又総体として財政も健全に運営されており、黒字をもって翌年度に引き継ぐことを得たのは、喜ぶべきことである。従って町財政当局の努力が高く評価される。ただあえて希望を申し上げれば、健全財政を維持しながら、事業を積極的に執行する事は結構であるが、より充分な財政計画の下に運営することが大切と思われる。

又、実行予算的執行を図るため、特に支出負担行為において予算統制に留意されたい。緩急よろしきを得ることは、言うべくしてなかなか困難なことではあるが、更に一層の創意と研究を加えることによって本町における行財政の運営は、完全を期することができるものと思われる。

(3) 館報大豊

公営事業の経理状況（昭和51年9月30日現在）

1. 昭和51年度国民健康保険事業特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率%
1. 国民健康保険税	66,305,000	68,718,940	27,216,579	41,502,361	41.05
2. 使用料及び手数料	51,000	11,800	11,800	0	23.14
3. 国庫支出金	237,634,000	74,749,000	74,749,000	0	31.46
4. 県支出金	1,000	0	0	0	0
5. 繰入金	2,000	0	0	0	0
6. 繰越金	9,000,000	0	0	0	0
7. 諸収入	17,867,000	463,775	354,272	109,503	1.98
歳入合計	330,860,000	143,943,515	102,331,651	41,611,864	30.93

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率%
1. 総務費	13,422,000	6,961,886	6,460,114	51.87
2. 保険給付費	305,000,000	103,876,202	201,123,798	34.09
3. 保険施設費	195,000	1,360	193,640	0.70
4. 基金積立金	1,000	0	1,000	0
5. 公債費	1,000	0	1,000	0
6. 諸支出金	10,741,000	10,518,270	222,730	97.93
7. 予備費	1,500,000	0	1,500,000	0
歳出合計	330,860,000	121,357,718	209,502,282	36.68

2. 昭和51年度簡易水道事業特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率%
1. 使用料及び手数料	12,746,000	5,987,290	4,192,470	1,794,820	32.89
2. 国庫支出金	49,017,000	0	0	0	0
3. 県支出金	11,500,000	0	0	0	0
4. 繰入金	2,712,000	0	0	0	0
5. 寄附金	3,703,000	0	0	0	0
6. 繰越金	1,000	0	0	0	0
7. 諸収入	385,000	3,730	3,730	0	0.97
8. 町債	72,000,000	0	0	0	0
歳入合計	152,064,000	5,991,020	4,196,200	1,794,820	2.76

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率%
1. 総務費	7,097,000	3,719,624	3,377,376	52.41
2. 水道管理費	142,050,000	1,551,858	140,498,142	1.09
3. 公債費	2,867,000	2,012,175	854,825	70.18
4. 予備費	50,000	0	50,000	0
歳出合計	152,064,000	7,283,657	144,780,343	4.79

3. 昭和51年度代替輸送事業特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収入率%
1. 県支出金	641,000	0	0	0	0
2. 繰入金	1,155,000	0	0	0	0
3. 諸収入	4,520,000	1,962,557	1,962,557	0	43.42
4. 繰越金	1,000	0	0	0	0
歳入合計	6,317,000	1,962,557	1,962,557	0	31.07

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率%
1. 民生費	6,036,000	2,862,633	3,173,367	47.43
2. 公債費	231,000	67,122	163,878	29.06
3. 予備費	50,000	0	50,000	0
歳出合計	6,317,000	2,929,755	3,387,245	46.38

昭和51年度予算の執行状況

(昭和51年9月30日現在)

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額 ^A	収 入 額 ^B	残 額 ^(A-B)	予算に対する収入率%
1. 町税	149,691,000	156,867,264	105,873,667	50,993,597	70.73
1 町民税	40,517,000	48,077,650	26,807,130	21,270,520	66.16
2 固定資産税	70,038,000	82,166,831	57,454,309	24,712,522	82.03
3 軽自動車税	3,635,000	5,236,860	4,681,210	555,650	128.78
4 たばこ消費税	21,000,000	8,797,710	6,932,810	1,864,900	33.01
5 電気ガス税	5,500,000	2,202,949	1,693,394	509,555	30.79
6 木材引取税	8,001,000	9,309,724	7,229,274	2,080,450	90.35
7 特別土地保有税	1,000,000	1,075,540	1,075,540	0	107.55
2. 地方譲与税	14,500,000	3,502,000	3,502,000	0	24.15
3. 自動車取得税交付金	11,000,000	4,954,000	4,954,000	0	45.04
4. 地方交付税	665,008,000	501,212,000	501,212,000	0	75.37
5. 交通安全対策特別交付金	1,300,000	0	0	0	0
6. 分担金及び負担金	45,469,000	39,772,590	18,180,639	21,591,951	39.98
7. 使用料及び手数料	4,921,000	2,829,610	2,829,610	0	57.50
8. 国庫支出金	155,694,000	34,225,000	34,225,000	0	21.98
9. 県支出金	217,749,000	22,166,741	22,166,741	0	10.18
10. 財産収入	1,721,000	1,312,360	1,312,360	0	76.26
11. 寄附金	33,358,000	2,850,350	2,850,350	0	8.54
12. 繰入金	8,397,000	0	0	0	0
13. 繰越金	1,000	0	0	0	0
14. 諸収入	36,199,000	3,957,736	3,957,736	0	10.93
15. 町債	241,400,000	0	0	0	0
歳入合計	1,586,408,000	773,649,651	701,064,103	72,585,548	44.19

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率%
1. 議会費	43,154,000	20,215,693	22,938,307	46.85
2. 総務費	365,190,000	115,587,640	249,602,360	31.65
3. 民生費	220,502,000	111,102,891	109,399,109	50.39
4. 衛生費	55,922,000	23,691,816	32,230,184	42.37
5. 農林水産業費	276,957,000	43,005,847	233,951,153	15.53
6. 商工費	36,916,000	35,905,500	1,010,500	97.26
7. 土木費	85,092,000	18,843,945	66,248,055	22.15
8. 消防費	52,938,000	27,802,659	25,135,341	52.52
9. 教育費	225,402,000	112,632,386	112,769,614	49.97
10. 災害復旧費	101,698,000	28,948,528	72,749,472	28.47
11. 公債費	117,636,000	54,531,468	63,104,532	46.36
12. 諸支出金	1,000	0	1,000	0
13. 予備費	5,000,000	0	5,000,000	0
歳出合計	1,586,408,000	592,268,373	994,139,627	37.33

住民負担の状況

(9月末大豊町人口 11,228人)

科 目	予 算 額	予算総額に対する構成費%	住民1人当りの負担額
町民税	40,517,000	2.55%	3,609 ^円
固定資産税	70,038,000	4.41	6,238
軽自動車税	3,635,000	0.23	324
分担金及び負担金	45,469,000	2.87	4,050
寄附金	33,358,000	2.11	2,971
計	193,017,000	12.17	17,192

地籍調査に

ご協力下さい

― 役場行政課 ―

大豊町では、国土調査法に基づき「地籍調査」を実施することになり、昭和五十一年度より立上り地区を皮切りに事業を進めております。全国でも有数の広大な面積をもつ本町で、この事業を完了するには約二十年程度の年月を要すると思われ、町としては、地主の皆さんや、町の地権者の皆さんと、協力を得て、出来るだけ短期間に事業が完了するように最善の努力を払う所存であります。以下地籍調査の概要を説明しますので、ご協力下さい。

一、地籍調査とは
土地の国勢調査ともいふべきもので、国土調査の一つとして行われる大切な調査です。調査事項は一

4. 財産地方債及び一時借入金現在高 (昭和51年9月30日現在)

1. 公有財産 (1) 土地及び建物

(単位 m²)

区分	土地	建物		計
		木造	非木造	
本庁舎	2,826		2,254	2,254
その他の行政機関	364	1,062		1,062
公共用学校	57,867	10,508	8,011	18,519
財産その他	30,254	6,149	747	6,896
山林	4,538,463			
教員住宅	147	1,508		1,508
普通住宅	76	286		286
山間試験場	46,472			
計	4,676,469	19,513	11,012	30,525

(2) 山林

権利区分	面積	立木推定蓄積量
町有	4,115,525m ²	6,224
分収	422,938	917
計	4,538,463	7,141

(3) 有価証券	電々公社債	1,040千円
(4) 出資による権利	高知県信用基金協会	572
	高知県信用基金協会	460
	高知県信用基金協会	5,000
	高知県信用基金協会	40
	高知県信用基金協会	450

2. 物品

区分	現在高
庁用車	13台
可搬小型動力ポンプ積載車	14
電動計算機	14
耐火金庫	16
戸籍用耐火キャビネット	9
電話交換機	1
自動二輪車	0
複写機	10
給食運搬車	4
バス	5

3. 債権	貸付金	12,300,000円
4. 一時借入金	貸付金	0
	貸付金	0
	貸付金	0

5. 地方債の状況 (単位 千円)

区分	昭和50年度末現在	昭和51年度末現在	昭和51年9月30日現在	現在高の借入金先別内訳	その他
一般公共事業債	33,108	0	31,959	31,959	
一般単独事業債	131,765	0	124,379	51,851	72,528
義務教育施設整備事業債	137,109	0	134,301	113,725	20,576
辺地対策事業債	25,228	0	23,569	23,569	
災害復旧事業債	111,134	0	105,212	105,212	
一般廃棄物処理施設整備事業債	8,149	0	7,617	7,617	
一処厚生福祉施設整備事業債	1,500	0	1,458	1,458	
市町村民税臨時債	20	0	0	0	
過疎対策事業債	318,385	0	310,431	310,431	
県貸付金	27,223	0	21,770		21,770
その他	52,469	0	52,458		52,458
合計	846,090	0	813,154	645,822	167,332

6. 基金の状況 (単位 千円)

基金の種類	基金に属する残高
大豊町国民年金印紙等購入基金	5,000
「奨学資金貸付基金	1,306
「国民健康保険基金	20,212
「財政調整基金	35,345
「職員の給与等調整基金	25,000
「土地開発基金	9,000
「ごみ収集用紙袋購入基金	3,901

あなたの

年金を増やす

耳よりなお知らせ

あなたが将来老齢年金を受けるとき、掛金の免除を受けたい期間については、掛金受けた人の年の年金しかもらえないことになり、今から十年間までの保険料に限り、免除を受けた当時

役場の年金係で確認をして、未納の方は納付書をもって、四月三十日までに完納するようにして下さい。詳細は役場年金係へお問い合わせ下さい。

また、航空写真による測量ができるようになり、測量が正しくスムーズに行われるように、皆さんの協力をお願いいたします。また、航空写真による測量が正しく、正確な測量が行われるように、皆さんの協力をお願いいたします。また、航空写真による測量が正しく、正確な測量が行われるように、皆さんの協力をお願いいたします。

家庭欄

高血圧の知識

高血圧は、血圧が正常値より高い状態をいいます。血圧は、心臓が収縮して血液を送り出すときの圧力です。血圧が高くなると、動脈硬化が進み、脳卒中や心臓病の原因になります。高血圧は、年齢とともに高くなる傾向があります。高血圧は、家族に多い傾向があります。高血圧は、生活習慣によって高くなる傾向があります。高血圧は、生活習慣によって高くなる傾向があります。

高血圧の自覚症状
① 頭が重い
② 首や肩がこる
③ 耳鳴りがする
④ よけのぼせる
⑤ 動脈硬化が進んでいる
⑥ 頭痛がする
⑦ めまいがする
⑧ 手足がしびれる
⑨ 息切れがする
⑩ 手足がむくむ
⑪ 苦しいときがある
⑫ 塩分をとり過ぎない

編集後記

◆数字の羅列、ごめんなさい。でもこれが町のお金の使途と財布の中味、精々ご研究の程を……
◆PTA、体育会、文化推進、青年団、婦人会と大分たまってあります。北村さんのアメリカ訪問記もいまして、お持ち下さい。
◆「愚問」さん、出来たら編集者だけに本名を聞かせてほしいです。
(中西)